



2015

第37期中間報告書

2015.3.1-2015.8.31

株式会社
良品計画

証券コード: 7453

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに当社第37期中間期(平成27年3月1日から平成27年8月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期の国内事業は、商品部をはじめ関連部門が一体となって改良に取り組んだ「フットカバー」「撥水コットンスニーカー」や、WEB上で人気が再燃し、売上拡大を続ける「体にフィットするソファ」などの戦略商品が売上を牽引し、6月、7月、8月ともに直営既存店売上高が前年実績を上回りました。また、継続して取り組んできた店舗スタッフの販売スキルの向上により、一人当たり売上高を前年同期比102%に押し上げ、全国39店舗で開始した免税販売サービスの売上高が直営店売上高の2.4%を占めるなど、海外からの訪日客への仕掛けも奏功しました。

海外事業も好調を維持し、特に営業利益は前年同期比191.1%と大きく伸長、良品計画グループ全体利益の四割以上を占める実績となりました。中国や台湾などで実施した原価率の改善を背景とした価格見直しは各地域で話題となり、集客に大きく貢献しました。また飲食事業のCafé&Meal MUJIも香港やシンガポールなど、海外での出店を拡大しております。

これらの結果、当中間期のグループ営業収益は1,474億48百万円(前年同期比19.3%増)、経常利益は162億75百万円(同37.9%増)、中間純利益は103億73百万円(同49.7%増)となり、上期の連結業績は6期連続の増収、5期連続の増益で当社の上半期としては、過去最高益を更新いたしました。

中期経営計画に掲げた2016年度売上高3,000億円(内、海外売上高1,000億円)、経常利益350億円、ROE15%以上の達成に向け着実に歩みを進めておりますが、物流関連費の効率化や在庫効率の改善など、課題も明確となっております。部門間の連動をますます強化し、全社一丸となって計画を達成させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

松崎 亮

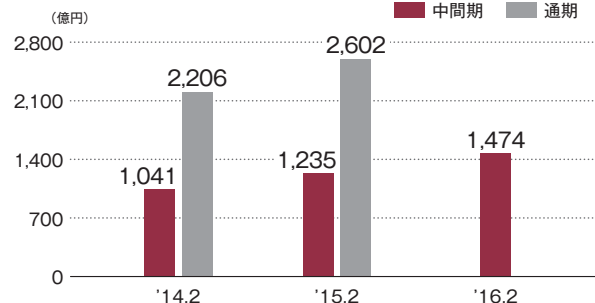
財務ハイライト

営業収益

1,474億円

前年同期比 19.3%増 ↑

▶ 営業収益

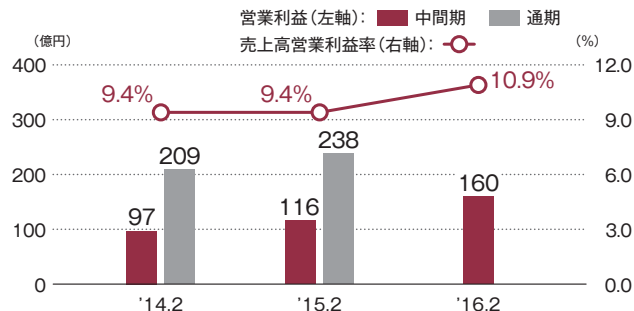


営業利益

160億円

前年同期比 38.1%増 ↑

▶ 営業利益 / 売上高営業利益率

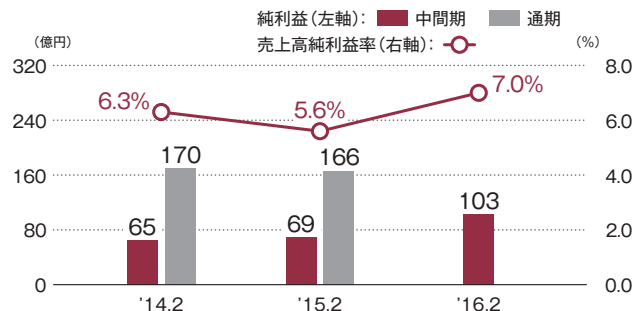


純利益

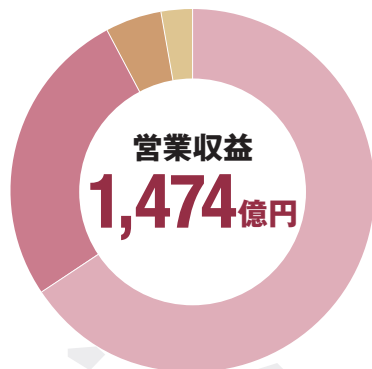
103億円

前年同期比 49.7%増 ↑

▶ 純利益 / 売上高純利益率



セグメント別概況



構成比率

国内事業 65.9%

▶ 営業収益
971億47百万円 (前年同期比7.0%増)

▶ 営業利益
87億57百万円 (前年同期比10.4%増)

衣服・雑貨では「ずっと、ずっと。麻と。」の訴求効果による「麻」シリーズの各商品や、「シャツは畑で生まれます。」による「綿」シリーズの商品が好調で、売上高の伸長に大きく貢献いたしました。生活雑貨では「体にフィットするソファ」や「超音波うるおいアロマディフューザー」などを中心とした売上高が好調であったこと、また、食品では「好みの濃さで味わう」、「水出し」等の各種飲料の売上高が堅実に伸長したことなどが、営業収益を押し上げる要因となりました。

東アジア地域事業 26.5%

▶ 営業収益
390億11百万円 (前年同期比62.4%増)

▶ 営業利益
78億42百万円 (前年同期比95.2%増)

中国、台湾、香港が大幅な増収増益となりました。特に中国は出店を加速させた結果、店舗数は前年同期から24店舗増加し、売上高が同159.0%と大幅に増加いたしました。また、台湾は前年同期から7店舗増加し、好調に推移しております。さらに各国・地域においても、在庫の適正化を図ったことにより利益の増加に貢献いたしました。

欧米地域事業 5.0%

▶ 営業収益
73億66百万円 (前年同期比20.0%増)

▶ 営業損失
4億82百万円 (前年同期1億69百万円の損失)

厳しい業績が続くフランスにおいてLA・DEFENSEとTERNESの2店舗を閉鎖し、再建計画を着実に進めております。また、米国は、第3四半期にオープン予定店舗に関する費用等の支出により、営業利益を若干押し下げました。一方、昨年度に新規設立したMUJI CANADA LIMITEDは1号店が順調に推移しており、貢献度が確実に向上しております。

西南アジア・オセアニア地域事業 2.7%

▶ 営業収益
39億22百万円 (前年同期比50.6%増)

▶ 営業損失
68百万円 (前年同期33百万円の損失)

タイでは、衣服・雑貨が売上高の伸長に大きく貢献し、季節商品を順調に消化することができました。また、シンガポールでは既存店が売上高、客数ともに伸長したことや在庫の適正化を図ったことにより、利益体質へ改善しつつあります。その他の国では店頭売上高が好調でしたが、店舗数増加に伴う販売費及び一般管理費等の増加により増収減益となりました。

財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2015年8月31日現在)	前期 (2015年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	109,728	106,316
現金及び預金	38,377	33,044
受取手形及び売掛金	6,688	8,879
棚卸資産	52,884	52,082
未収入金	7,407	7,943
その他	4,378	4,375
貸倒引当金	△7	△9
固定資産	83,094	80,631
有形固定資産	35,794	35,252
無形固定資産	13,660	13,570
投資その他の資産	33,639	31,807
資産合計	192,823	186,947
負債の部		
流動負債	34,096	42,404
固定負債	19,550	15,872
負債合計	53,646	58,276
純資産の部		
株主資本	124,302	116,501
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,806	10,825
利益剰余金	113,668	106,084
自己株式	△6,938	△7,174
その他の包括利益累計額	11,600	8,718
その他有価証券評価差額金	4,386	2,739
為替換算調整勘定	7,213	5,978
新株予約権	319	408
少数株主持分	2,953	3,042
純資産合計	139,176	128,670
負債純資産合計	192,823	186,947

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2015年3月1日から 2015年8月31日まで)	前中間期 (2014年3月1日から 2014年8月31日まで)
売上高	147,187	123,260
売上原価	76,260	64,937
売上総利益	70,926	58,322
営業収入	261	327
営業総利益	71,188	58,649
販売費及び一般管理費	55,117	47,013
営業利益	16,071	11,636
営業外収益	552	336
営業外費用	348	168
経常利益	16,275	11,804
特別利益	709	77
特別損失	177	56
税金等調整前中間純利益	16,807	11,825
法人税等	6,602	4,935
少数株主損益調整前中間純利益	10,205	6,890
少数株主損失(△)	△168	△40
中間純利益	10,373	6,931

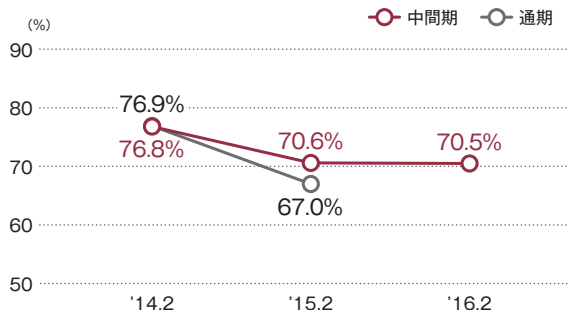
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

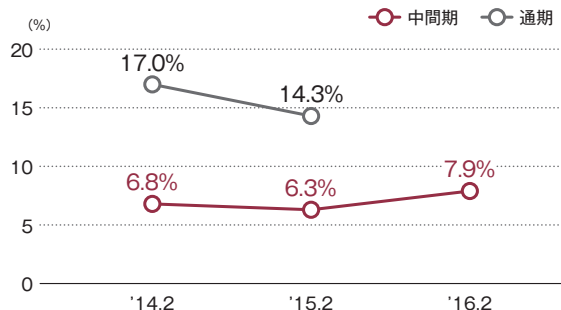
科目	当中間期 (2015年3月1日から 2015年8月31日まで)	前中間期 (2014年3月1日から 2014年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,057	6,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,670	△14,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,577	4,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	444	△598
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,253	△3,755
現金及び現金同等物の期首残高	30,464	25,001
現金及び現金同等物の中間期末残高	35,717	21,245

主要経営指標

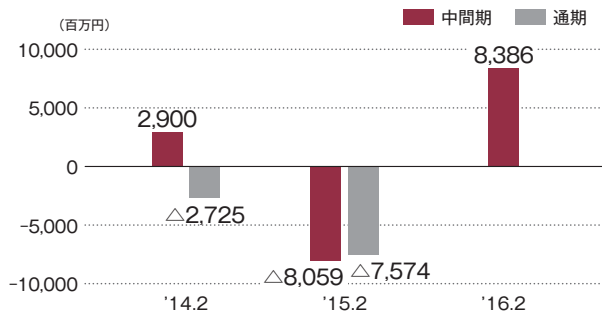
▶ 自己資本比率



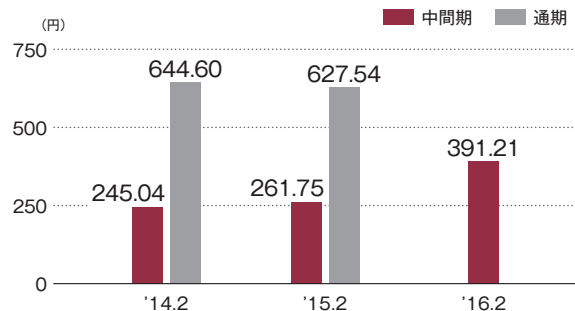
▶ 自己資本中間(当期)純利益率(ROE)



▶ フリーキャッシュ・フロー



▶ 1株当たり中間(当期)純利益



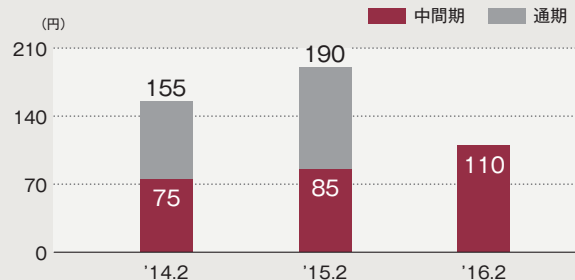
株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、1株当たり利益を向上させることが、責務であると認識しております。

利益配当金につきましては、連結の業績に基づいた配当とし、配当性向につきましては30%(年間)を基準にしております。

この方針のもと、今期中間配当金は110円とさせていただきます。

▶ 1株当たり配当金



福岡、名古屋で地域の大型旗艦店がオープン

3月5日、九州で最大面積となる単独路面店「無印良品天神大名」をオープンしました。九州最大の商業地、博多・大名エリアの中でも、ファッション・文化の情報発信拠点に新しく仲間入りしたこの店舗で表現したのは衣料品の新しい売場環境。くつろげる空間の中、日用品を選ぶ気軽さとトータルコーディネートを考えるワクワク感を提供し、衣料品専門のアドバイザーが、お好みのイメージに合わせたスタイリングや季節のワードローブ全体のご相談までトータルにご案内しています。

また、同日リニューアルオープンした「MUJIキャナルシティ博多」では、3万冊の書籍を無印良品ならではの切り口で展開する「MUJI BOOKS」を展開。料理の基本になぞらえ、「さ(冊)、し(食)、す(素)、せ(生活)、そ(装)」で書籍を構成。「感じ良いくらし」の発見とヒントをゆっくり見つけていただける空間を提供しています。インテリアアドバイザーによる総合的なコーディネート提案や、住まいを自分好みに編集するためのさまざまなパーツを相談しながら選べるサービス「MUJI INFILL+」を九州地方で初めて導入するなど、感じ良いくらしを書籍とインテリアで提案する店舗です。

つづく4月17日には、中部エリアの旗艦店舗としてリニューアルオープンした「無印良品名古屋名鉄百貨店」。エリア最大の売場面積を誇る大型旗艦店へと生まれ変わり、中部初となる飲食業態「Café&Meal MUJI」の併設、「MUJI INFILL+」などのリノベーション商材を核とした住まいの展示ゾーンも充実しています。また、「OpenMUJI」と名付けたイベントスペースも設置し、名古屋を拠点に活躍するクリエイターやデザイナーを招いたワークショップや無印良品をより深く体験できるイベントを開催しています。

このように各地域で核となる旗艦店舗を出店し、地域に根ざした新たな取り組みをスタートさせています。



無印良品天神大名



MUJIキャナルシティ博多

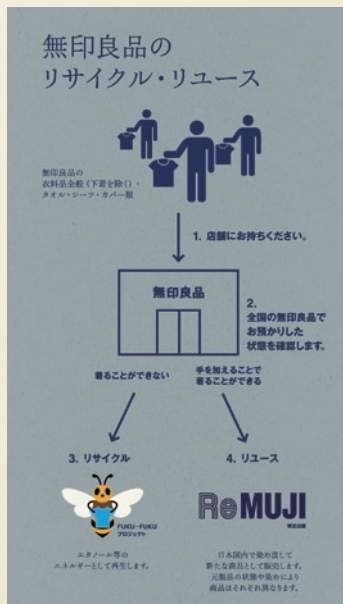


無印良品名古屋名鉄百貨店

回収した衣料品のリユース「ReMUJI」をスタート

当社は循環型社会を目指す企業として、自社製品のリサイクルを重要なことと考え、2010年より、衣料品を中心とした繊維製品を店頭で回収、資源としてエネルギーにかえていく取り組み「FUKU-FUKUプロジェクト」に参加しています。2014年までに約60トンの繊維製品をエネルギーに再生させてきました。

しかし、回収したものの中には、まだまだ着用可能な状態の服も多くあることに気づきました。日本では古くから、着古して色のあせた服を染め直したり、破れた部分は刺し子をして補強したりしながら服を大切に扱う文化があります。そのような先人の知恵を生かし、回収した衣料品から再生できるものを選別し、染め直して販売するリユースの取り組み「ReMUJI」をスタートしました。現在は限定4店舗^(※)で「ReMUJI」の常設コーナーを設置しています。ものを大事に永く使って欲しい、という想いととも染め直した服は、世界にひとつだけの新しい服として、その成り立ちに共感してくださったお客様にご好評をいただいています。※無印良品有楽町、無印良品名古屋名鉄百貨店、無印良品京都BAL、無印良品天神大名



ReMUJI
<http://www.muji.com/jp/re-muji/>

カットソー、シャツ・ボトム、雑貨など

（全て、無印良品の使用済衣料品を回収し染め直した、一点ものとなります。）

価格：2,900円（税込）

会社概要

会 社 名	株式会社良品計画 (RYOHIN KEIKAKU CO.,LTD.)
所 在 地	〒170-8424 東京都豊島区東池袋四丁目26番3号
電 話	03-3989-4403 (総務人事担当)
設 立	1989年6月 (登記上 1979年5月) ※額面変更のため合併を行っております。
資 本 金	67億6,625万円
決 算 日	2月末日
年 商	2,602億円 (2015年2月期営業収益)
従 業 員 数	6,293名 (パートタイム社員4,726名を含む)
国内店舗数	直営店296店舗、商品供給店112店舗
海外店舗数	イギリス 12店舗 / フランス 10店舗 / イタリア 9店舗 / ドイツ 8店舗 / アイルランド 1店舗 / スウェーデン 7店舗 / ノルウェー 3店舗 / スペイン 6店舗 / トルコ 2店舗 / ポーランド 1店舗 / ポルトガル 1店舗 / 米国 9店舗 / カナダ 1店舗 / 香港 15店舗 / シンガポール 9店舗 / マレーシア 4店舗 / 韓国 14店舗 / 中国 132店舗 / 台湾 36店舗 / タイ 11店舗 / オーストラリア 3店舗 / インドネシア 2店舗 / フィリピン 7店舗 / クウェート 2店舗 / UAE 3店舗 / 合計 308店舗
主 な 事 業	「無印良品」を中心とした専門店事業の運営 / 商品企画 / 開発 / 製造 / 卸しおよび販売
ホームページ	企業情報ページ http://ryohin-keikaku.jp/

役 員

代表取締役会長 (兼)執行役員	金井 政明	取 締 役 (兼)執行役員	山本 祐樹	社内監査役	楨田 隆史	執行役員	大木 宏人
代表取締役社長 (兼)執行役員	松崎 暁	取 締 役 (兼)執行役員	清水 智	社外監査役	松井 仁	執行役員	萩原 由美子
常務取締役 (兼)執行役員	小森 孝	社外取締役	酒巻 久	社外監査役	服部 勝	執行役員	武内 健治
取 締 役 (兼)執行役員	鈴木 啓	社外取締役	遠藤 功	社外監査役	原 邦明	執行役員	齋藤 陽司
取 締 役 (兼)執行役員	岡崎 令	社外取締役	伊藤 俊明	常務執行役員	亀谷 哲夫	執行役員	齋藤 正一

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人：東京都新宿区津久戸町1番2号 あずさセンタービル

株 式 情 報

(2015年8月31日現在)

株式の状況

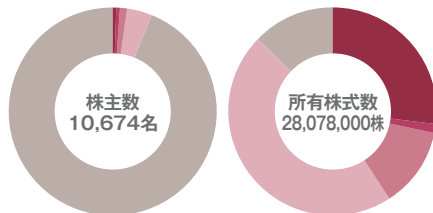
発行可能株式総数	112,312,000株
発行済株式の総数	28,078,000株
株 主 数	10,674名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口	1,929	6.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 信託口	1,898	6.76
JP MORGAN CHASE BANK 380055 (standing proxy:みずほ銀行)	1,786	6.36
三菱商事株式会社	1,078	3.84
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT (standing proxy:三菱東京UFJ銀行)	639	2.28
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (standing proxy:香港上海銀行東京支店)	633	2.25
株式会社クレディセゾン	631	2.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口9	598	2.13
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY (standing proxy:Citi Bank)	597	2.13
株式会社ファミリーマート	561	2.00

(注)自己株式1,471,972株は含んでおりません。

株主分布状況



■ 金融機関	77名	7,614,300株
■ 証券会社	48名	397,062株
■ その他の法人	126名	3,463,600株
■ 外国法人・外国人	409名	13,062,147株
■ 個人その他*	10,014名	3,540,891株

*「個人その他」には自己株式1名1,471,972株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
(インターネット ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	当社のホームページに掲載する。 http://ryohin-keikaku.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	7453
単元株式数	100株